

平成 21 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社コスモスイニシア
 代表者名 代表取締役社長 町田 公志
 (JASDAQ コード 8844)
 問合せ先 グループ戦略室長 野崎 勇一
 (TEL. 03-3580-2680)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 1 月 30 日付で修正いたしました平成 21 年 3 月期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の連結業績予想の修正 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	205,000	△17,000	△21,000	△34,000
今回修正予想 (B)	191,500	△18,500	△22,500	△87,000
増減額 (B-A)	△13,500	△1,500	△1,500	△53,000
増減率	△6.6%	—	—	—
前期実績 (平成 20 年 3 月期)	194,439	17,956	14,692	20,006

平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の個別業績予想の修正 (単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	164,000	△20,000	△23,000	△35,000
今回修正予想 (B)	152,000	△20,500	△23,500	△90,000
増減額 (B-A)	△12,000	△500	△500	△55,000
増減率	△7.3%	—	—	—
前期実績 (平成 20 年 3 月期)	152,029	15,230	13,000	19,372

修正理由

(1) 個別

当社の主力事業である不動産販売事業におきまして、新築マンション・戸建住宅の引渡戸数が前回計画比各々200戸・73区画（売上高△98億円・△33億円）減少となる見込みであることを主因に、売上高が120億円減少し、営業利益及び経常利益が各々5億円減少する見通しであります。

また、平成21年4月28日付で公表しております「事業再生に向けた今後の方向性に関するお知らせ」に記載のとおり、今後の事業再生を目指すにあたり、抜本的に事業内容を見直したことによる販売用不動産の簿価切下げ額412億円、固定資産の減損損失53億円、関係会社株式評価損53億円に加え、早期退職費用15億円や拠点統合に伴う移転費用4億円等を含めた合計24億円を今後の事業再生に向けた追加負担額として見込み、総額542億円を事業再生損失（特別損失）として計上する見込みであります。

以上のことから、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益を上記のとおり修正いたします。

(2) 連結

当社の主力事業である不動産販売事業におきまして、新築マンション・戸建住宅の引渡戸数が前回計画比各々200戸・75区画（売上高△98億円・△33億円）減少となる見込みであることに加え、不動産仲介事業、工事事業等を含めたその他セグメントの売上高が前回計画比12億円の減少となる見込みであることなどにより、売上高が135億円減少し、営業利益及び経常利益が各々15億円減少する見通しであります。

また、今後の事業再生を目指すにあたり、抜本的に事業内容を見直したことによる販売用不動産の簿価切下げ額412億円、固定資産の減損損失53億円、貸倒引当金繰入額34億円に加え、早期退職費用15億円や拠点統合に伴う移転費用4億円等を含めた合計24億円を今後の事業再生に向けた追加負担額として見込み、総額523億円を事業再生損失（特別損失）として計上する見込みであります。

以上のことから、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益を上記のとおり修正いたします。

なお、平成21年4月28日付で「たな卸資産評価損及び事業再生損失の計上に関するお知らせ」を公表しておりますので、事業再生損失の詳細に関しましては、そちらをご参照ください。

また、同日付で「事業再生に向けた今後の方向性に関するお知らせ」を公表しておりますので、あわせてご参照ください。

※本資料記載の業績予想に関しましては、本資料発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。今後、様々な要因によって、実際の業績が大きく異なる可能性があります。

以 上